

令和3年度 昭和館運営事業の実施状況について

(令和4年1月末日現在)

1 昭和館入場者状況

・新型コロナウイルス感染症対策

緊急事態宣言の発出に伴い、4月25日（日）から臨時休館とした。

6月1日（火）から博物館等に対する休業要請が切り替わったため、昭和館としては、検温、マスクの着用、入館者の制限など新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じることにより事業を再開した。

なお、開館後も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するため、イベント、研修等の開催については中止又は延期等の対応を行った。

また、緊急事態宣言が解除された10月1日（金）以降も引き続き基本的な新型コロナウイルス感染防止対策を徹底している。

(1) 総入場者数

66,099人（各展示室等の入場者数の合計）前年度同期57,487人 対比15%増

なお、平成11年度以降の入場者総数は、6,426,559人となった。

(2) 各展示室等の入場者内訳

	令和3年度入場者数 (令和3年4月～令和4年1月)	令和2年度同期入場者数 (令和2年4月～令和3年1月)	対比
ア 常設展示室	19,845人	11,769人	68.6%増
個人有料入場者	8,440人	7,182人	17.5%増
団体有料入場者	446人	230人	93.9%増
無料入場者	10,959人	4,357人	151.5%増
小・中学生	9,207人	2,888人	218.8%増
イ 映像・音響室	10,032人	7,614人	31.8%増
ウ 図書室	4,905人	3,459人	41.8%増
エ 特別企画展	24,471人	28,313人	13.6%減
オ ニュースシアター	6,846人	6,332人	8.1%増
計	66,099人	57,487人	15.0%増

昭和館利用状況(令和4年1月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
常設展示室	個	89	0	66	59	101	89	134	162	118	83	901
	大人	529	0	498	748	928	681	641	741	618	537	5,921
	高・大学生	50	0	152	154	103	84	77	127	122	75	944
	小・中学生	117	0	49	281	440	117	158	356	447	200	2,165
	ぐるっとバス	19	0	47	68	75	76	96	107	103	83	674
	小計	804	0	812	1,310	1,647	1,047	1,106	1,493	1,408	978	10,605
	遺族会	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20
	大人	9	0	1	7	2	35	19	82	38	13	206
	高・大学生	0	0	1	37	0	23	80	58	21	0	220
	小・中学生	0	0	812	1,012	0	79	787	1,393	2,258	711	7,042
小計	9	0	814	1,056	2	137	906	1,523	2,317	724	7,488	
中計(ア)	813	0	1,626	2,366	1,649	1,184	2,012	3,016	3,725	1,702	18,093	
招待券	24	0	87	107	307	18	99	160	212	110	1,124	
未就学児	17	0	17	35	40	23	18	21	14	14	199	
身体障害者等	40	0	26	52	61	52	44	57	58	39	429	
小計(イ)	81	0	130	194	408	93	161	238	284	163	1,752	
計①(ア)+(イ)	894	0	1,756	2,560	2,057	1,277	2,173	3,254	4,009	1,865	19,845	
大人	903	0	724	786	1,001	899	841	1,081	945	816	7,996	
高・大学生	54	0	75	57	22	16	70	59	68	9	430	
小・中学生	107	0	65	266	332	111	103	256	267	99	1,606	
計②	1,064	0	864	1,109	1,355	1,026	1,014	1,396	1,280	924	10,032	
大人	474	0	428	451	495	462	443	577	420	400	4,150	
高・大学生	19	0	11	23	16	18	19	18	25	12	161	
小・中学生	56	0	35	117	152	41	31	97	30	35	594	
計③	549	0	474	591	663	521	493	692	475	447	4,905	
特別企画展④	4,437	0	0	1,217	2,322	2,661	7,038	4,691	2,049	56	24,471	
ニュースシアター⑤	577	0	710	882	1,006	660	674	832	818	687	6,846	
合計①+②+③+④+⑤	7,521	0	3,804	6,359	7,403	6,145	11,392	10,865	8,631	3,979	66,099	

		昨年(令和3年度)累計	A-B
個	65歳以上	793	108
大人	大人	5,300	621
高・大学生	高・大学生	568	376
小・中学生	小・中学生	1,171	994
ぐるっとバス	ぐるっとバス	521	153
小計	小計	8,353	2,252
遺族会	遺族会	0	20
大人	大人	181	25
高・大学生	高・大学生	49	171
小・中学生	小・中学生	1,717	5,325
小計	小計	1,947	5,541
中計(ア)	中計(ア)	10,300	7,793
招待券	招待券	942	182
未就学児	未就学児	134	65
身体障害者等	身体障害者等	393	36
小計(イ)	小計(イ)	1,469	283
計①(ア)+(イ)	計①(ア)+(イ)	11,769	8,076
大人	大人	6,495	1,501
高・大学生	高・大学生	263	167
小・中学生	小・中学生	856	750
計②	計②	7,614	2,418
大人	大人	2,910	1,240
高・大学生	高・大学生	98	63
小・中学生	小・中学生	451	143
計③	計③	3,459	1,446
特別企画展④	特別企画展④	28,313	-3,842
ニュースシアター⑤	ニュースシアター⑤	6,332	514
合計①+②+③+④+⑤	合計①+②+③+④+⑤	57,487	8,612

令和3年度 特別企画展・巡回特別企画展等入場者状況

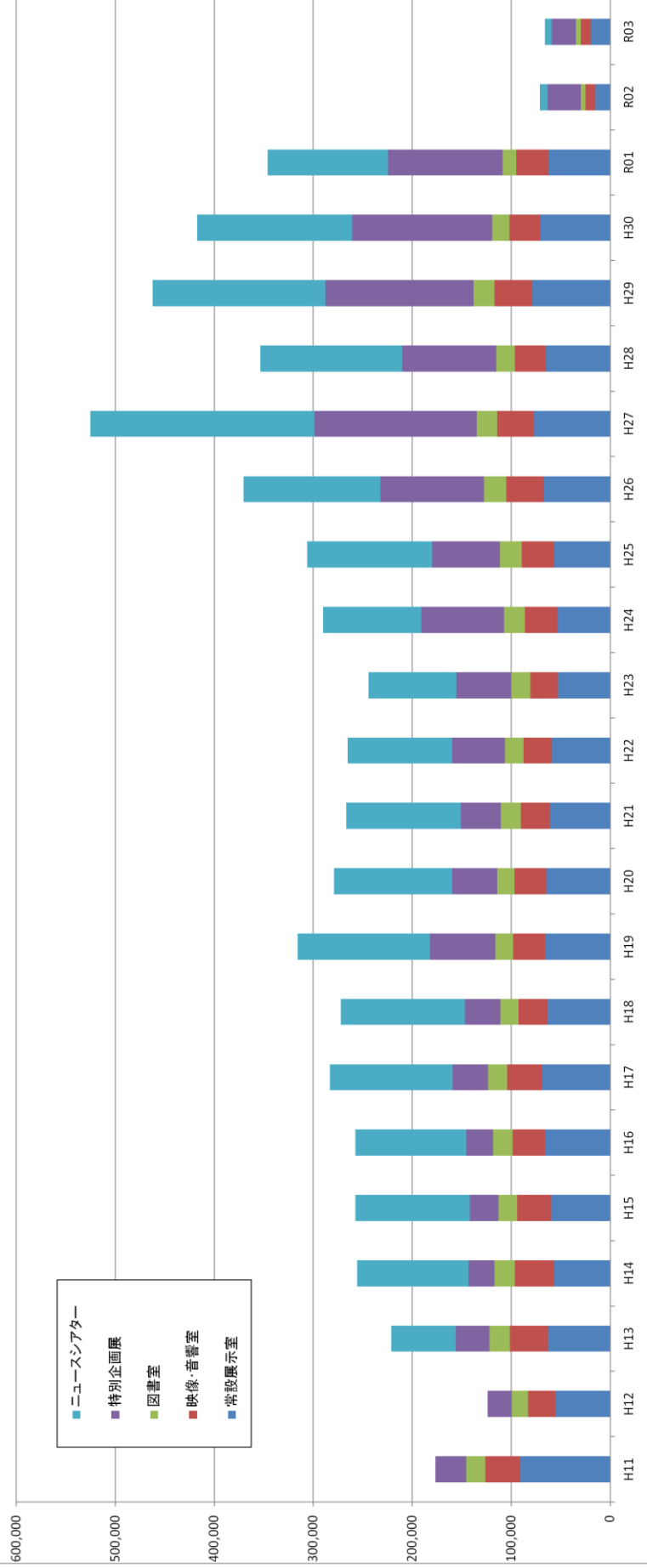
内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特別企画展「丈夫なからだで病を防げ！ 3/13～4/24 ～健康づくりと感染症予防～」 *4/25～5/9臨時休館 (イベント含む)	2,094												2,094
写真展「マンガ『風太郎不戦日記』を 通して知る戦時下のくらし」 *4/25～5/9臨時休館 (イベント含む)	2,330												2,330
特別企画展「ボスターのちから ～変化する役割と広がるデザイン～」 前期:7/17～8/15、 後期:8/17～9/5 (イベント含む)				1,217	2,322	492							4,031
「こども書が関見学デー」(8/18～8/19 不参加)													0
各種イベント等	13 (語り部)		中止 (語り部)	0	中止 (語り部)	0	47 (語り部)	53 (語り部)	34 (語り部)	0	—		94
紙芝居定期上演会		臨時休館		中止		0	0	53		56		—	109
教員のための博物館体験(中止)					中止								0
写真展「1946 明日へ」 9/11～12/19 (イベント含む)					中止	2,169	2,814	3,631	2,015				10,629
「くらしにみる昭和の時代 兵庫展」 10/7～10/17							3,342						3,342
「昭和館・しょうけい館・平和祈念展示資料館3館連携企画 展」													
「くらしにみる昭和の時代 島根展」 10/29～11/7							835	1,007					1,842
特別企画展「SF・冒険・レトロフュー チャー×リメイク ～挿絵画家 花鳥勝 一と小松崎茂の世界～」 (イベント含む)												—	0
写真展「うつりゆく昭和の九段下界隈」 3/19～5/8 (イベント含む)												—	0
合 計	4,437	0	0	1,217	2,322	2,661	7,038	4,691	2,049	56	—	—	24,471

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和3年度)

	常設展示室										図書室	特別企画展	ニュースシアター	総計
	大人	高校・大学生	小・中学生	ぐるっとバス	無料	合計	映像・音響室							
平成11年度	84,620	2,479	3,737	-	-	90,836	35,236	19,398	31,142	-	176,612			
平成12年度	40,457	1,973	10,186	-	2,914	55,530	27,661	16,370	24,112	-	123,673			
平成13年度	36,830	2,396	19,739	-	3,610	62,575	38,866	20,616	33,903	65,124	221,084			
平成14年度	29,847	3,373	19,710	-	4,016	56,946	39,286	20,622	26,204	112,402	255,460			
平成15年度	28,802	2,725	22,713	-	5,235	59,475	34,328	19,072	28,953	115,594	257,422			
平成16年度	29,862	3,140	27,162	-	5,592	65,756	33,046	19,573	26,920	112,164	257,459			
平成17年度	30,288	2,596	29,502	-	6,265	68,651	35,416	19,449	35,611	124,259	283,386			
平成18年度	28,407	2,919	25,504	-	6,363	63,193	29,225	18,465	35,848	125,484	272,215			
平成19年度	26,845	3,611	27,519	-	7,605	65,580	32,683	17,617	66,280	133,564	315,724			
平成20年度	23,469	3,245	31,847	-	6,082	64,643	32,101	17,270	45,719	119,418	279,151			
平成21年度	20,997	2,412	28,736	2,540	6,059	60,744	29,787	19,898	40,627	115,523	266,579			
平成22年度	21,076	2,605	28,051	2,102	5,194	59,028	28,388	19,011	53,423	105,242	265,092			
平成23年度	18,400	3,347	24,067	1,815	4,868	52,497	28,410	19,130	55,293	88,989	244,319			
平成24年度	19,340	2,644	24,419	1,662	5,206	53,271	33,092	20,984	83,568	99,329	290,244			
平成25年度	20,952	3,173	24,932	1,636	6,284	56,977	32,653	22,013	68,427	126,225	306,295			
平成26年度	20,367	3,225	33,335	1,884	8,524	67,335	37,692	22,523	104,753	138,008	370,311			
平成27年度	28,362	3,689	34,660	2,559	7,667	76,937	37,252	20,499	163,928	226,440	525,056			
平成28年度	21,932	3,264	33,706	1,913	4,461	65,276	31,007	18,781	95,210	143,326	353,600			
平成29年度	23,737	3,152	44,970	1,795	5,091	78,745	38,110	21,449	149,538	174,407	462,249			
平成30年度	24,890	4,060	34,244	1,818	5,572	70,584	31,176	17,626	141,383	156,586	417,355			
令和元年度	22,094	3,227	30,812	1,730	4,655	62,518	32,285	14,095	115,478	121,684	346,060			
令和2年度	8,117	805	3,792	661	1,695	15,070	10,116	4,573	33,389	7,966	71,114			
令和3年度	7,048	1,164	9,207	674	1,752	19,845	10,032	4,905	24,471	6,846	66,099			
令和4年1月31日現在														
合計	616,739	65,224	572,550	22,789	114,710	1,392,012	717,848	413,939	1,484,180	2,418,580	6,426,559			

昭和館入場者状況の推移(平成11年度～令和3年度)

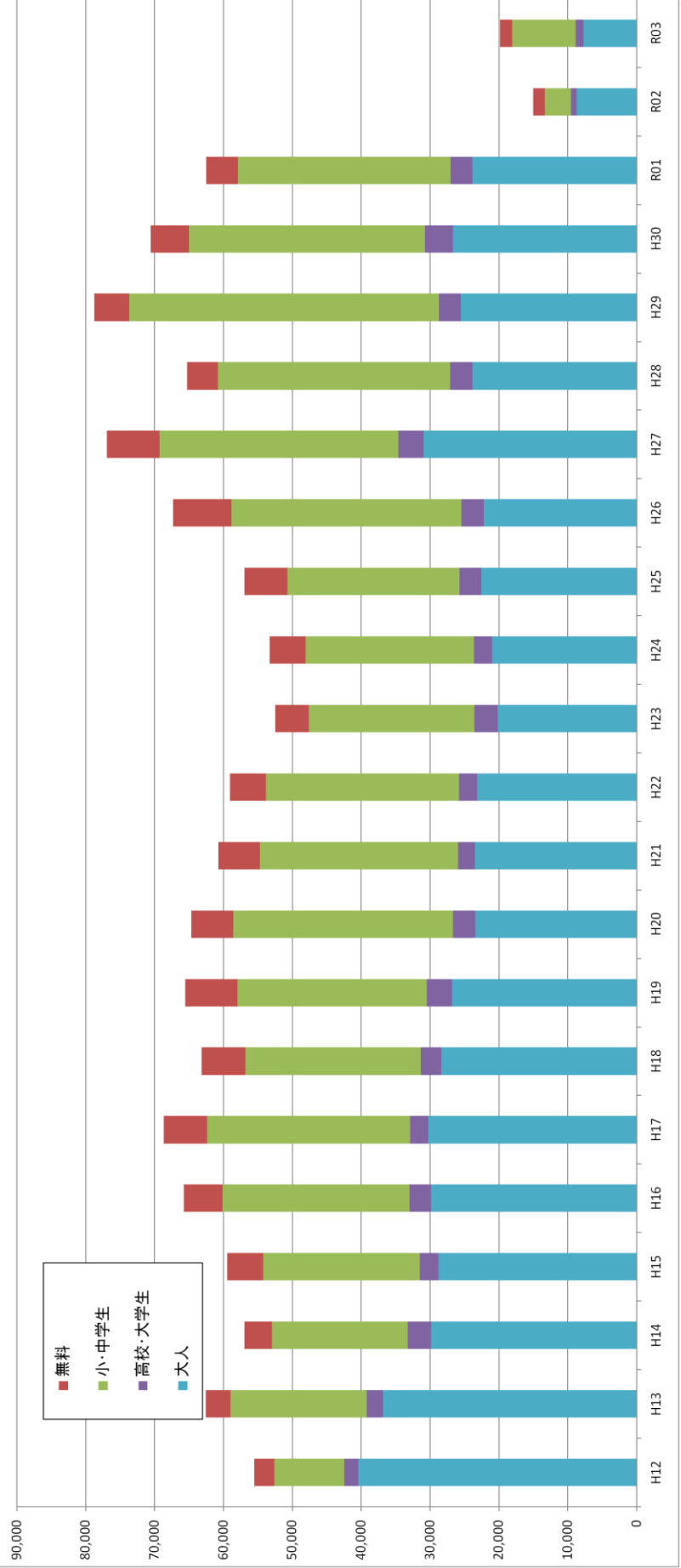
	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	合計
常設展示室	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	19,845	1,392,012
映像・音響室	35,236	27,661	38,866	39,286	34,328	33,046	35,416	29,225	32,683	32,101	29,787	28,388	28,410	33,092	32,653	37,692	37,252	31,007	38,110	31,176	32,285	10,116	10,032	717,848
図書室	19,398	16,370	20,616	20,622	19,072	19,573	19,449	18,465	17,617	17,270	19,898	19,011	19,130	20,984	22,013	22,523	20,499	18,781	21,449	17,626	14,095	4,573	4,905	413,939
特別企画展	31,142	24,112	33,903	26,204	28,953	26,920	35,611	35,848	66,280	45,719	40,627	53,423	55,293	83,568	68,427	104,753	163,928	95,210	149,538	141,383	115,478	33,389	24,471	1,484,180
ニュースシアター	-	-	65,124	112,402	115,594	112,164	124,259	125,484	133,564	119,418	115,523	105,242	88,989	99,329	126,225	138,008	226,440	143,326	174,407	156,586	121,684	7,966	6,846	2,418,580
総計	176,612	123,673	221,084	255,480	257,422	257,459	283,386	272,215	315,724	279,151	266,579	265,092	244,319	290,244	306,295	370,311	525,056	353,600	462,249	417,355	346,080	71,114	66,099	6,426,559



※令和3年度は令和4年1月31日現在の数字。

昭和館入場者(常設展示室)状況の推移(平成11年度～令和3年度)

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	合計
常設展示室																								
大人	84,620	40,457	36,830	29,847	28,802	29,862	30,288	28,407	26,845	23,469	23,537	23,178	20,215	21,002	22,588	22,251	30,921	23,845	25,532	26,708	23,824	8,778	7,722	639,528
高校・大学生	2,479	1,973	2,396	3,373	2,725	3,140	2,596	2,919	3,611	3,245	2,412	2,605	3,347	2,644	3,173	3,225	3,689	3,264	3,152	4,060	3,227	805	1,164	65,224
小・中学生	3,737	10,186	19,739	19,710	22,713	27,162	29,502	25,504	27,519	31,847	28,736	28,051	24,067	24,419	24,932	33,335	34,660	33,706	44,970	34,244	30,812	3,792	9,207	572,550
無料	-	2,914	3,610	4,016	5,235	5,592	6,285	6,363	7,605	6,082	6,059	5,194	4,868	5,206	6,284	8,524	7,667	4,461	5,091	5,572	4,655	1,695	1,752	114,710
総計	90,836	55,530	62,575	56,946	59,475	65,756	68,651	63,193	65,580	64,643	60,744	59,028	52,497	53,271	56,977	67,335	76,937	65,276	78,745	70,584	62,518	15,070	19,845	1,392,012



※令和3年度は令和4年1月31日現在の数字。

2 広報活動の実施状況

(1) 昭和館事業のPR活動等

昭和館事業内容のPRのため、東京メトロ九段下駅4出口、東西線2番ホーム、半蔵門線3番ホームの電飾掲示板に掲示し、事業内容のPR活動を行い、都営新宿線車内の窓上にもポスターを掲示した。さらに、JR飯田橋駅構内に電飾看板を掲示し、JRの利用客にもPR活動を行った。

また、特別企画展開催等の際には、九段郵便局等にポスターを掲示する等PRに努めた。

なお、郵便局の利用については、巡回特別企画展開催時においても行った。

さらに、東京メトロ・東京都交通局一日乗車券特典ガイド「ちかどく」、JT Bや千代田区等のガイドブック、毎月発行される千代田区報等に当館の紹介記事を掲載した。

その他、読売新聞、東京新聞、産経新聞、毎日新聞、日本教育新聞等に広報記事を掲載した。

(2) 広報資料の送付等

8頁の広報活動状況のとおり、「昭和館館報」については、令和3年8月に都道府県、政令指定都市、教育委員会、東京特別区、全国の老人クラブ連合会、各省庁図書館等に対して送付した。なお、都道府県遺族会、類似施設、大学図書館等には「昭和のくらし研究」も併せて送付した。

令和3年6月上旬に全国の公立小・中・中等学校に「昭和館だより第36号」を送付し、11月上旬に、全国の公立小・中学校に対して「昭和館だより第37号」を送付した。

さらに、全国の公立中学校・高等学校に「中学生・高校生ポスターコンクール」のチラシ、全国の小・中学校へ貸出キット、写真展のチラシを送付し周知を図った。

上記とは別に、令和3年7月上旬に千代田区の小学校の全校生徒、千代田区を除く22区と9市の小学校5年生、令和2年度に来館した小学校と中学校に「昭和館だより第36号」及び作文コンクールのチラシを送付するとともに、来館した中学校と高等学校に対しては「昭和館だより第36号」及び中学生・高校生ポスターコンクールのチラシを送付した。また、1都3県の小・中・高等学校へ「語り部講師派遣」のチラシを送付し、来館促進及び周知を図った。

(3) 「昭和館だより」の発行

昭和館の活動を学校等に随時伝えるため、「昭和館だより第36号」、「昭和館だより第37号」を、令和3年6月と令和3年11月に発行し、(2)に記載した教育関係機関に発送した。

(4) 昭和館の刊行物の発刊

- ① 令和2年度の昭和館の活動状況をまとめた「昭和館館報」(第22号)を令和3年7月に発刊した。
- ② 「昭和のくらし研究」(第20号)を令和4年3月に発刊予定。

広 報 活 動 状 況

1 地方公共団体等への「昭和館館報」「昭和のくらし研究」の送付

広報対象機関名	館報20号	昭和のくらし研究 22号	実施時期
都道府県	47	—	令和3年 8月
政令指定都市	20	—	
教育委員会	241	—	
東京特別区	23	—	
都道府県遺族会	47	47	
全国の老人クラブ連合会	60	—	
類似施設	329	314	
資料寄贈者	79	—	
大学図書館等	209	211	
遺族会・運営専門委員会・国会図書館・各省庁図書館	33※	2※	

※国会図書館には各2冊

2 全国の学校等への広報資料の送付

広報対象機関名	学校数	学校向け広報誌 「昭和館だより36号」	貸出キット チラシ	昭和館見学 作文コンクール	中学生・高校生 ポスターコンクール	実施時期
全国の公立小学校	19,500	19,500	19,500	—	—	令和3年 6月
全国の公立中学校・中等教育学校	10,300	10,300	10,300	—	—	
千代田区内の公立小学校（全校生徒）	8	3,590	—	8	—	令和3年 7月
（千代田区を除く）東京都の校長会等で配布依頼した公立小学校（全校生徒）	1,061	120,870	—	1,061	—	
小学校来館校（令和2年度）	9	450	—	9	—	
中学校来館校（令和2年度）	21	21	—	21	21	
中学校・高等学校来館校（令和2年度）	350	350	—	—	350	

広報対象機関名	学校数等	学校向け広報誌 「昭和館だより37号」	中学生・高校生 ポスターコンクール	実施時期
全国の公立小学校	19,500	19,500	—	令和3年 11月
全国の公立中・中等教育学校	10,300	10,300	10,300	
全国の公立高等学校	5,400	5,400	5,400	
中学校・高等学校来館校等	37	—	37	令和3年12月

3 新聞記事、広報媒体への掲載

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
WEB	JNTO（日本政府観光局）	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
WEB	東京観光GOTOKYO	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ナビタイムジャパン	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	千代田区観光協会HP	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	J A F	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	WEB「散歩の達人 駅からさんぽ東京」	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	ジョルダン	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
WEB	NHK NEWS WEB	紹介記事	昭和館（島根県巡回展）	10月29日	無料
広報誌	広報千代田	紹介記事	昭和館の案内（特別企画展等）	通年	無料
広報誌	ちよだ生涯学習ガイドブック	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
広報誌	千代田区ミュージアム&シアターマップ	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
広報誌	ちかたく	紹介記事	昭和館の案内	通年	無料
広報誌	道具学会News 74号	紹介記事	昭和館（写真展）	通年	無料
広報誌	アキメク！千代田	紹介記事	昭和館（写真展）	通年	無料
広報誌	東京かわら版	紹介記事	昭和館の案内（夏の特別企画展）	通年	無料
ガイドブック	歩く地図 東京散歩 2023	紹介記事	昭和館の案内	2023年	無料
ガイドブック	JTB「詳細地図で歩きたい町 東京」	紹介記事	昭和館の案内	2月	無料
ガイドブック	未来をつくる！新しい平和学習	紹介記事	昭和館の案内	2022年	無料
新聞	日経新聞	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	8月1日、8月8日	無料
新聞	読売新聞	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	8月2日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	8月27日	無料
新聞	読売新聞	紹介記事	昭和館（夏特別企画展）	8月30日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館の案内	8月31日	無料
新聞	山陰中央新報	紹介記事	昭和館（島根県巡回展）	10月30日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館（写真展）	11月3日	無料
新聞	東京新聞	紹介記事	昭和館の案内	12月21日	無料

広報媒体	掲 載	方 法	内 容	実施時期	備考
公共交通	J R東日本飯田橋駅	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	都営地下鉄新宿線（出口4）	車内広告	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ半蔵門線九段下駅（3番ホーム）	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
公共交通	東京メトロ東西線九段下駅（2番ホーム）	電飾掲示板	昭和館の案内	通年	有料
郵便局	九段郵便局	イベント広告	昭和館の案内（特別企画展等）	通年	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント広告	昭和館の案内	6月7日、11月8日	有料
教育新聞	日本教育新聞	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	6月21日	有料
教育新聞	日本教育新聞・デイリースポーツ新聞 産経新聞	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	6月21日、7月9日～19日、7月25日、8月11～18日	有料
新聞広告	読売新聞	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	6月23日	有料
新聞広告	フジサンケイビジネス 埼玉新聞 東京新聞	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	6月24日、7月15日、7月20日～25日	有料
新聞広告	スポーツ報知	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	7月21日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	7月21日、8月27日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（夏特別企画展）	7月25日	有料
新聞広告	デイリースポーツ新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	9月21日～9月28日、10月20日～29日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	9月25日、11月28日	有料
新聞広告	読売新聞 埼玉新聞 東京新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	9月29日、10月14日、10月17日、11月2日～7日	有料
新聞広告	産経新聞	イベント広告	昭和館（写真展）	10月26日	有料

(5) 昭和館ホームページ

常設展示室の展示替えをはじめ、特別企画展や巡回特別企画展、写真展や資料公開コーナーなどの展示案内、紙芝居の上演会やオーラルヒストリー特別上映会といった催し物の案内に加えて、語り部育成事業についても研修の様子や定期講話会や語り部派遣など最新情報発信のため、月2～5回の内容更新を行った。

今年度のアクセス件数は、令和4年1月31日（月）現在まで249,931件（1日平均816.7件）、子ども向け「昭和館キッズナビ」のアクセス件数は、7,897件（1日平均25.8件）であった。

(6) SNS

ツイッターやフェイスブック、YouTube等のSNSにおいても、イベントの開催案内やニュースシアターの上映作品、図書室の資料紹介等を発信した。

新型コロナウイルス感染拡大防止により休館となっていたゴールデンウィーク期間（令和3年4月29日（木）～5月8日（土））には、クイズ形式で写真、映像、音響資料を紹介した。

令和4年1月31日（月）現在のアクセス数等は、以下のとおりである。

Twitter登録者数	フェイスブック閲覧者数	YouTube視聴回数
1,761 (1,517)	13,677 (11,971)	1,874,562 (28,689)

() カッコ内は昨年同時期の実績

【参考】 昭和館 Youtube について（再生回数の多いもの）

- 1) 日本人の捕虜 記録映像 (62万回視聴)



URL : <https://www.youtube.com/watch?v=vlqYlc16IkI>
米国立公文書館所蔵映像

- 2) 大竹の日本人引揚者 記録映像 (61万回視聴)



URL : <https://www.youtube.com/watch?v=sjf990ZLpCY>
米国立公文書館所蔵映像

- 3) 日本の艦船；擱座、沈没、破壊 記録映像 (48万回視聴)



URL : https://www.youtube.com/watch?v=oH-60MM0r_A
米国立公文書館所蔵映像

他に、昭和館 youtube では、オーラルヒストリーなどを公開している。

3 来館促進対策

(1) 常設展示室の入場無料等について

「昭和の日」令和3年4月29日（木）は臨時休館中のため実施しなかった。
「戦没者を追悼し平和を祈念する日」令和3年8月15日（日）に入場無料を実施した。

(2) 第20回 昭和館見学作文コンクール【資料3】

昨年度、団体来館校の減少にともない応募作品数が減少した。今年度においては、来館しなくても応募ができるように応募条件を緩和し、平和学習に注力している学校をチラシ配布先に追加する等して周知を行った。しかし、応募数の増加につながるような効果は得られず5作品の応募となった。

応募作品数が少なかったことから、昨年同様審査は行わず、応募者全員に昭和館特別賞の授与と記念品を贈呈することとした。

来年度は「書くこと」の学習における活用をPRする等して教員へのアプローチを強化し、周知後のフォローや昭和館 YouTube オーラルヒストリーへの誘導方法の工夫、教育関連雑誌での広報等を行い応募者数の増加に努める。

(3) 第14回 昭和館中学生・高校生ポスターコンクール【資料4】

あなたが感じた戦中・戦後の昭和の暮らしを中学生・高校生の手作りポスターによって多くの人々に伝えることを目的にポスターコンクールを実施した。

令和4年1月14日（金）消印有効で締め切り、15校76作品の応募があった。

令和4年2月中に最優秀賞、優秀賞などの各賞を選定し、3月上旬に賞状及び賞品の送付、4月上旬にホームページで各賞を発表する予定。

(4) 教員のための博物館体験

学校と博物館の連携を図ることを目的に、学芸員による展示趣旨・方法の解説、収蔵庫などのバックヤード見学等を、小中高校の教員を対象として、例年は7月及び8月の夏休み期間に実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止のために中止した。

(5) 貸出キットの貸出状況

実物資料、グラフィックパネル、証言映像DVDの貸出キットについて、広報用チラシの配布を行い、来館者及び巡回特別企画展来場者へ周知を図った。

なお、令和3年度の貸出状況は以下の通りである。

(単位:件)

都道府県	小学校	中学校	地方公共団体	その他	合計
福島県				1	1
東京都	2		4	2	8
神奈川県				2	2
千葉県				1	1
埼玉県			2	2	4
静岡県				1	1

富山県				2	2
石川県		1			1
奈良県	1				1
大阪府			1		1
長崎県		1			1
合 計	3	2	7	1 1	2 3

(6) 紙芝居定期上演会

昭和館所蔵の紙芝居を紙芝居師が実演する上演会（1日3回。奇数月に開催）を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月から9月までは実施を中止した。

11月と1月については、従来3回目の上演時に行っていたワークショップの要素を取り入れた来場者の上演体験については、新型コロナウイルス感染防止のため実施を見合わせた。

上 演 日	入場者	演 目
令和3年11月27日(土)	53人	「ハリケンピーちゃん」「ぎくがく地獄」 「声ひとすじ」
令和4年 1月22日(土)	56人	「ハリケンピーちゃん」「ぎくがく地獄」 「声ひとすじ」

今後の予定

上 演 日	演 目
令和4年3月26日(土)	「ハリケンピーちゃん」「ぎくがく地獄」「声ひとすじ」

(7) こども霞ヶ関見学デー

新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

4 展示事業

(1) 常設展示

長期展示による資料の劣化を避け、より多くの方々の寄贈資料を紹介するため、常設展示室を休室して資料の入替と清掃作業を行った。

①令和3年6月28日(月)から6月30日(月)までの3日間、常設展示室を休室し資料交換作業を実施した。

②令和4年1月29日(土)から1月31日(月)までの3日間、常設展示室を休室し資料交換作業を実施した。

(2) 特別企画展

① 「丈夫なからだで病を防げ！～健康づくりと感染症予防～」

○開催期間

令和3年3月13日（土）～5月9日（日）

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

昭和における「健康」「からだづくり」をテーマとして取り上げ、病気と快復、運動とからだづくり、食生活と栄養、厚生事業等に関わる資料を紹介した。

○入場者数

4, 332人（117人／1日）（内、令和2年度の入場者数は2, 238人）

※緊急事態宣言の発出により令和3年4月25日から臨時休館となったため、4月24日を以て終了した。

② 「ポスターのちから～変化する役割と広がるデザイン～」

○開催期間

令和3年7月17日（土）～9月5日（日）

前期：7月17日（土）～8月15日（日）

後期：8月17日（火）～9月5日（日）

開催期間を前期と後期に分け、8月16日（月）に展示資料の一部入れ替えを行った。

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

昭和館ポスターコレクションの中から、デザインの変遷に着目して作品を厳選し、昭和期におけるポスター制作と作り手であるデザイナーたちの活躍を紹介した。

○入場者数

4, 031人（92人／1日）

③ 「SF・冒険・レトロフューチャー×リメイク
～挿絵画家 椋島勝一と小松崎茂の世界～」【資料5】

○開催期間

令和4年3月12日（土）～5月8日（日）

○特別協力

株式会社講談社 株式会社タミヤ

○後援

千代田区、千代田区教育委員会

○内 容

雑誌『少年倶楽部』を中心に活躍し、「ペン画の神様」と呼ばれた挿絵画家・椋島勝一。その椋島が描く秀麗な挿絵に憧れて挿絵画家を志し、のちに空想科学（SF）挿絵画家として大成した小松崎茂。この2人の挿絵画家に焦点をあて、彼等の画業を通じながら戦中・戦後の少年文化とその移り変わりを紹介する。

（3）巡回特別企画展

① 「くらしにみる昭和の時代 兵庫展」

○開催期間

令和3年10月7日（木）～10月17日（日）

○会 場

兵庫県立美術館ギャラリー棟3階 ギャラリー

（神戸市中央区脇浜海岸通1丁目1番1号）

○主 催

昭和館

○共 催

神戸大学 大学文書史料室

○協力・後援等

- ・協 力 一般財団法人兵庫県遺族会及び日本遺族会第3ブロック
- ・後 援 兵庫県 兵庫県教育委員会 神戸市 神戸市教育委員会 神戸新聞社
神戸経済新聞 NHK神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西
Kiss FM KOBE

○内 容

兵庫県にゆかりのある実物資料を中心に、写真資料・図解資料・映像資料を展示、紹介した。また、特設コーナーとして、兵庫県にまつわるポスターコレクションの展示、神戸大学と学徒出陣等を紹介する共同展示をおこなった。

○入場者数

3,342人（約334人／1日）

② 昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館 3 館連携企画展

○開催期間

令和3年10月29日（金）～11月7日（日）

○会場

松江テルサ テルサホール（島根県松江市朝日町478-18）

○主催

昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館

○協賛・後援等

- ・協 賛 一般財団法人島根県遺族連合会及び一般財団法人日本遺族会第4ブロック
- ・後 援 島根県 松江市 島根県教育委員会 松江市教育委員会 朝日新聞松江総局
毎日新聞松江支局 読売新聞松江支局 産経新聞社 中国新聞社
山陰中央新報社 新日本海新聞社 島根日日新聞社 共同通信社松江支局
NHK松江放送局 BSS山陰放送 日本海テレビ TSKさんいん中央テ
レビ エフエム山陰 山陰ケーブルビジョン

○内 容

「くらしにみる昭和の時代 島根展」と題し、島根の実物資料や写真、証言映像（オーラルヒストリー）を通して紹介した。また、特設コーナーとして、永井隆や加納莞菴といった地元の人物の紹介、島根大学による特設展示を行った。

○入場者数

1,842人（約184人／1日）

（4）写真展の開催（2階ひろば）

① 「マンガ『風太郎不戦日記』を通して知る戦時下のくらし」

○開催期間

令和3年3月20日（土）～5月9日（日）

○内 容

漫画家勝田文が描いた『風太郎不戦日記』の誌面を通じた戦時下のくらしと作家・山田風太郎と同時代を生きた男子学生たちの青春を所蔵写真から紹介した。

○入場者数

4,945人（約160人／1日）（内、令和2年度の入場者数は2,615人）

※緊急事態宣言の発出により令和3年4月25日から臨時休館となったため、4月24日を以て終了した。

②「1946 明日へ」

○開催期間

令和3年9月11日（土）～12月19日（日）

○内 容

「再出発する日本」「外地からの引揚者」「住まいを失った人びと」「食糧を求める人びと」「まちかどの情景」「明日を生きる子どもたち」の6つのテーマに分けて、歴史的瞬間や、困窮する中でも工夫をこらして生活する人びと、たくましく生きる子どもたちをとらえた写真などを紹介した。

○入場者数

10,629人（約120人／1日）

③「うつりゆく昭和の九段下界限」【資料6】

○開催期間

令和4年3月19日（土）～5月8日（日）

○内 容

時代とともに移り変わってきた九段下とその周辺の様子を所蔵写真で紹介する。

※詳細につきましては、令和4年度事業計画（資料2）にてご説明させていただきます。

5 資料収集

（1）実物資料の収集

令和3年度は収蔵庫の整理を優先し、資料収集については最小限にとどめているが、資料補修等は従来通り進める。

令和4年1月末日における実物資料点数は、以下の通りである。

	令和3年度収集	累 計
寄贈資料	17点	46,326点
購入資料	1点	14,646点
厚生労働省資料	0点	3,243点
寄託資料	0点	485点
計	18点	64,700点

(2) 図書資料の収集

令和3年度は、写真集や手記、部隊史などに重点を置いて収集に努め、巡回特別企画展の開催地及び開催予定地、未開催地関連の資料の充実をはかるとともに、閲覧希望が多い青少年向け雑誌・婦人雑誌などの欠号補充、児童書や学習漫画の購入を行った。

令和4年1月末日における図書・雑誌資料の収集は以下の通りである。

	令和3年度収集	累 計
国民生活関係図書	1, 732冊 (995冊寄贈)	67, 966冊
戦争に関する基本図書	476冊 (165冊寄贈)	22, 552冊
独自資料	0冊	35, 980冊
その他基本図書	39冊 (38冊寄贈)	11, 658冊
計	2, 247冊 (1, 198冊寄贈)	138, 156冊

(3) 写真資料の収集

令和3年度に受け入れた主な写真は以下のとおりである。

濱崎正枝氏が所蔵していた学童疎開先(千葉県・長安寺)での集合写真など13枚(寄贈)。

小林ジュディ由利江氏が所蔵していた昭和10年代の子どもの遊び風景の写真4枚(寄贈)。

(4) オーラルヒストリーの制作

戦中・戦後の国民生活の労苦を伝える事業の一環として、平成16年度から体験者の証言を映像記録として残す事業を進めている。

今年度は新型コロナウイルスの感染状況がいったん沈静化した秋口から「東京近郊編」9名の聞き取り調査および収録を開始している。

6 戦中・戦後の労苦を伝える語り部育成・活動事業

(1) 語り部育成事業

戦中・戦後の労苦を体験した者が高齢化する中、当時のことを語り継いでいくことが難しくなっていることから、平成28年度より、国民が体験した戦中・戦後のくらしの上での様々な労苦を後世に語り継いでいく、次世代の伝承者である「語り部」を育成する事業を開始し、現在研修を実施している。

事業の実施状況

ア 平成28年度に第1期生の募集を行い、11名が研修に参加、全36回の研修を終え、令和元年9月に9名が修了した。

イ 平成29年度に第2期生の募集を行い、8名が参加(内1名が3期生に編入し、令和3年2月時点では7名)した。令和2年度の研修は、新型コロナウイルス感染防止に伴い3月～6月の研修を中止とし、修了時期を延長して振替研修を実施することとした。令和3年3月に6名が修了した。

ウ 平成30年度に第3期生の募集を行い、9名が参加（内3名が辞退、他1名が2期生から編入し、令和4年2月時点では7名）した。今年度の研修は、新型コロナウイルス感染防止に伴い3月～6月の研修を中止とし、修了時期を延長して振替実習を実施することとした。令和4年2月に修了。

エ 研修内容

1～2年目：語り部としての基礎知識研修、「家族の別れ」等のテーマ別研修、体験談の聴講・体験者との交流等

2～3年目：語り部実演・発表によるスキルアップ、講話原稿作成等

（2）語り部活動事業

3年間の語り部研修を通して一定の回数、研修に参加し、講話原稿を提出した研修生には修了証を授与する。提出された原稿を昭和館、厚生労働省、審査委員会による審査の後、「次世代の語り部」として定期講話会（各偶数月第1日曜日）及び講話派遣活動を委嘱する。

事業の実施状況

ア 第1期生は、令和元年9月に9名が修了し、12月に7名に対して委嘱を行った。

12月にホームページで情報を公開した。令和元年12月から偶数月の第1日曜日に定期講話会を開催し、学校等で「次世代の語り部」派遣講話を行った。実施状況（令和4年2月時点）は以下のとおり。

イ 第2期生は 令和3年3月に6名が修了し、6月に6名に対して委嘱を行った。活動を開始した4名の語り部についてはホームページで情報を公開し、10月の定期講話会から順次講話を行った。

【定期講話会】

	講話テーマ	参加者数	開催日 開催場所
1	①「学校生活と子どもたち（戦前・戦中編）」 ②「軍事郵便を聞く」 ③「戦争と学生」	13	令和3年4月4日 ニュースシアター
2	①「ぼくの家にも戦争があった」 ②「白米が憧れだった頃－戦中・戦後の人びとの米への強い想い－」	31	令和3年10月3日 ニュースシアター
3	①「学童疎開－戦時下の親元を離れての集団生活－」 ②「軍事郵便を聞く」	16	令和3年10月24日 ニュースシアター
4	①「沖縄の光と影～今を支える戦争の記憶～」 ②「軍国少年の戦中・戦後～終戦時13歳の今吉孝夫さんの体験を中心として～」	34	令和3年12月5日 ニュースシアター
5	①「ぼくの家にも戦争があった」 ②「空白の3年8か月～天気予報と戦争～」	24	令和4年2月6日 ニュースシアター

※6、8月は緊急事態宣言発令中のため中止した。

【講話派遣】

	派遣先 講話テーマ	聴講者数	開催日
1	東京都中央区立佃中学校2年生 「軍国少年の戦中・戦後」	128	令和3年6月18日
2	平和都市宣言記念事業ピースセミナー 戦争ってなに？～次世代につたえる戦争体験 (世田谷区教育委員会) 「戦中の小学生」	20	令和3年7月21日
3	みんなで考える命と平和・絵本朗読と戦争語り部のお話(独立行政法人国立青少年教育振興会) 「軍事郵便を聞く」	125	令和3年8月5日
4	相模原市立相模丘中学校2年生 「軍国少年の戦中・戦後 ～今吉孝夫さんの体験を中心として～」 「学校生活と子どもたち」(戦前・戦中編)」	193	令和4年2月4日

7 情報検索システムの充実

(1) 図書・雑誌の装備及びデータ入力

令和2年度に入手した図書・雑誌が閲覧できるようにするため、令和3年度は図書・雑誌1,300冊の装備と書誌及び目次データの入力を行っており、令和4年3月上旬には図書室内での利用が可能となる予定である。

(2) 映像データの公開

5階映像音響室の大型テレビにて、オリンピック開催期間には1964年に東京で開催されたオリンピック・パラリンピックのニュース映像を紹介し、写真展「1946 明日へ」開催時には焦土と化した東京の様子や占領下の日本人を撮影した映像を紹介した。

米国立公文書館から入手した映像やオーラルヒストリーは昭和館 YouTube チャンネルで順次公開している。米国立公文書館映像は58本を公開し、内2本の映像は視聴回数が60万を超えている。オーラルヒストリーの公開作品数は61本である。

昨年度に購入した「新日本ニュース」30本、「映像タイムトラベル」97本を映像・音響室にて公開した。

(3) 写真の公開

令和元年度に寄贈された師岡宏次撮影写真のネガコレクションの整理を進め、公開に向けて順次データ化を進めている。

(4) デジタル雑誌システムのインデックス作成

『毎日新聞』『週間スポーツ』『少国民新聞(大毎版)』『征空』『東日小学生新聞』『The ABC WEEKLY』の6紙632冊分の画像データ作成と閲覧に供するための検索用データ作成を進めており、令和4年度には閲覧できる予定。

8 資料公開等

(1) 昭和館懐かしのニュースシアター

ニュースシアター会場においてニュース映画を毎日上映し、新たに資料整理を終えた日本ニュースを加えて、162作品(令和4年1月31日現在)を上映した。さらにこれまでに制作したオーラルヒストリー9作品(令和4年1月31日現在)を紹介した。

平和祈念展示資料館が令和3年10月6日(水)から12日(火)に九段生涯学習館で開催した特別展示「漫画と絵本で伝えるシベリア抑留～『凍りの掌』『氷海のクロ』原画展」の連携企画として、シベリア抑留等に関するニュース映像を紹介し、館内外との連携を図った。

例年実施していた「昭和の日」や「こどもの日」の特別上映会等のイベントについては、新型コロナウイルス感染防止に伴い中止とした。

(2) 映像資料等の提供状況

令和4年1月末日における映像資料等の提供データは以下の通りである。

資料	データ件数
静止画資料	31,043件
動画資料	3,591件
音響資料	14,213件
計	48,847件

(3) 資料公開コーナーの運用

収蔵している図書・動画・静止画資料を4階・5階の図書室、映像・音響室で公開しているが、さらに多くの方に関心をもって見ていただくことを目的に、平成19年より1階ロビーにおいて資料公開コーナーを設けている。

令和3年度に実施した内容は以下のとおりである。

実施回	タイトル	期間
第80回	第13回中学生・高校生ポスターコンクール 入賞作品展示	令和3年4月6日(火) ～6月27日(日)
第81回	人びとを魅了した浪曲	令和3年6月29日(火) ～9月26日(火)
第82回	修学旅行	令和3年9月28日(火) ～12月26日(日)

第 83 回	英語との向き合い方 ～昭和の人々が学んだテキストから～	令和 4 年 1 月 5 日 (水) ～ 4 月 3 日 (日)
--------	--------------------------------	-------------------------------------

(4) その他

来館者への利用促進として、図書室では様々なテーマを設けて図書を紹介しているが、令和 3 年度は「東京オリンピック・パラリンピックの本を読んでみよう!」「戦中・戦後の生理用品事情～アンテナプキン発売から 60 年～」「昭和のレトロおもちゃ」等をテーマに関連した資料を紹介した。

また、「あなたの出身地は? 昭和館で見られる 47 都道府県の資料」と題し、2～3 か月ごとに各都道府県の関連資料の紹介をしている。

さらに、資料公開コーナー関連資料の展示紹介や、平和祈念展示資料館が九段生涯学習館において、令和 3 年 10 月 6 日 (水) から開催した特別展示「漫画と絵本で伝えるシベリア抑留『凍りの掌』『氷海のクロ』原画展」の関連本コーナーを設け、館内外との協力、連携を図った。

加えて、小・中学生の利用促進を目的として、毎年夏休み中に子どもイベントのコーナーを設けていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、ワークシートや図書リスト等を配置した。ワークシートは「学童疎開」「東京オリンピック」など 9 種類を配布し、約 480 枚の利用があった。

9 関係施設との連携

(1) 関係施設等連携会議の開催

関係施設等連携会議(昭和館事務局)を開催するとともに、しょうけい館、平和祈念展示資料館との 3 館の連携に取り組んだ。

関係機関：厚生労働省社会・援護局援護企画課、
総務省大臣官房総務課管理室、平和祈念展示資料館、
しょうけい館、昭和館

第 20 回会議を令和 3 年 6 月 23 日 (水) に開催

第 21 回会議を令和 4 年 2 月 2 日 (水) に開催

(2) 「夏休み 3 館めぐりスタンプラリー」

令和 3 年 7 月 17 日 (土) ～ 9 月 5 日 (日)

共催 平和祈念展示資料館、しょうけい館

参加者 3,655 人

(3) 「漫画と絵本で伝えるシベリア抑留 『凍りの掌』『氷海のクロ』原画展」の開催

令和 3 年 10 月 6 日 (水) ～ 10 月 12 日 (火)

主催 平和祈念展示資料館

協力 昭和館、しょうけい館

場所 九段生涯学習館 2 階 九段ギャラリー

(4) 巡回特別企画展の相互協力

① 兵庫県における巡回企画展では、しょうけい館と平和祈念展示資料館についてポスタ

一を掲示する等の周知を図った。

令和3年10月7日(木)～10月17日(日)

② 島根県において昭和館、しょうけい館、平和祈念展示資料館3館連携委企画展を実施した。

令和3年10月29日(金)～11月7日(日)

10 昭和館運営専門委員会の開催

昭和館運営事業について有識者から様々な意見を聴取するため、以下のとおり、昭和館主催の昭和館運営専門委員会を開催した。

第1回運営専門委員会開催

令和3年7月8日(木)に開催

第2回運営専門委員会開催

令和4年2月15日(火)に書面にて実施

11 アンケート結果 (令和3年4月1日～令和3年12月26日現在)

昭和館のアンケート調査は、平成11年7月から実施し、広報活動、各種企画展、常設展示室の改善の他、顧客満足度アップのため実施している。1階 ニュースシアター、4階 図書室、5階 映像・音響室、6階 常設展示室においてアンケートを設置している。

昭和館について(特別企画展含) ○回収枚数 471枚(特別企画展 268枚含)

アンケート概要

○昭和館をどのようにして知ったか(複数回答)

その他 (学校・類似 施設など)	通りかかって	昭和館だより (DM)	当館HP SNS	友人・知人	新聞・テレビ ラジオ	駅看板
32.2%	22.5%	16.5%	11.9%	8.2%	5.4%	3.3%

○利用回数(常設展示室)

1回	2回	3回	4回以上
78.4%	10.5%	4.1%	7.0%

○展示内容(常設展示室)

良い	普通	つまらない
86%	14.0%	0%

○性別(常設展示室・特別企画展)

男性	女性
53.9%	46.1%

○年齢別(常設展示室・特別企画展)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
21.3%	9.6%	4.8%	13.7%	19.3%	17.4%	9.8%	4.1%

○住所（常設展示室・特別企画展）

東京都	神奈川県	千葉県	埼玉県	その他
71.6%	8.1%	3.9%	7.9%	8.5%

○展示を見て「戦中・戦後」の理解が深まったか（常設展示室）

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった
52.6%	42.1%	4.7%	0.6%

【主な意見（春の特別企画展）】

- ・多くの説明があつて良かったが、説明に難しい文字が多くありフリガナがなかったのでわからない読み方があつたのが残念。（複数意見）
- ・国家の政策がよくわかるポスターなどの資料が多く興味深かった。コロナ感染対策で展示資料を少なくしていると思うがより多くの資料を見たくなった。展示の色合いがすっきりとしていて見やすかった。（20代・女性）
- ・小学校の給食献立がパンばかりで衝撃的だった。今は「パンは体に悪い」という説が流行しているが健康とされるものは時代に左右され何が本当に健康に正しいのか考えさせられた。（20代・女性）
- ・厚生省が戦争中に発足していたとは知らなかった。また、健康促進運動も戦時体制のものだった一面には複雑な思い。健康優良児を表彰するなど戦後もそんなに変わっていないのは興味深い。ラジオ体操の歴史もおもしろかった。（40代・女性）
- ・栄養指導の要はこの戦前・戦中期に飛躍的に進んだのだと再認識した。高齢化で医療費がかさむ中、適切な自己管理で著しく健康寿命が伸びるだろうと思った。（40代・女性）
- ・当時のカルタやポスターに書かれている事は、今のコロナ対策にも通じる事が多く、基本的な事は時代が変わっても同じなのだと思つて実感した。手洗い・検温・体力作り・栄養を取るなど当たり前の事を日々継続していこうと思った。（40代・女性）
- ・タイムリーな展示だった。多くの示唆をもらった（60代・女性）
- ・地味な企画だけどすばらしい。もっと多くの人が昭和館の事を知るべきだと思う。（60代・男性）
- ・厚生省ができたきっかけを初めて知つた。当時は戦争もあり食糧難の時代。今の飽食の時代とは違い食べ物の代用品としてトウモロコシの花を砂糖の代用に使っていたのは笑えた。キャベツの芯は今でも薄く切つて使っている。（60代・男性）
- ・大変良かった。おもしろかった。ためになった。戦時中の国策で国民はだまされてかわいそうだった。今の世も同じような事がおこっていると思う。戦争を起ささないよう皆で見守り、国を守っていかなければならないと思った。今のコロナ対策も当時と似たようなところがあると思う。（70代・男性）
- ・子供の頃の虫下しや、髪の毛のノミを縁側の新聞の上に櫛でけずつた事など忘れていた日常を思い出し、現在の異常なほどの清潔な生活を考えさせられた。（70代・女性）
- ・国民保健体育の内容が大変良かった。特に細かく指導されており、11種類の組立、16秒間に1つの運動をする等。引揚者は特に大変な苦勞をした事が理解できた。貴重な資料だった。（70代・男性）
- ・戦時下、戦後の食糧難をはじめとする健康問題についての取り組みが豊富な資料とともに展開されていて大変参考になりかつ懐かしかった。90歳に近い私にとって一生の歴史が追体験できた好企画だった。（80代・男性）

【主な意見（夏の特別企画展）】

- ・「お願いします。隊長殿、あの旗を…」のポスターの文書に強く心を動かされた。若い兵士達にそこまで思わせる（言わせる）者は誰なのか。憤りを感じた。（複数意見）
- ・なかなか目にする事ができない昭和のポスターを見る事ができて良かった。ポスターだけでなくタバコや香水など実物を展示しているのも良かった。（20代・男性）
- ・戦中～戦後にかけての情勢とともにポスターの絵柄も変遷していくのが面白かった。特に戦中のポスターはデザインやレタリングに圧倒された。普段の生活では触れられないものばかりだったので来場できて良かった。個人的には「此の鍵！」と「パイロットインキ」のポスターが気に入った。（20代・女性）
- ・戦前～戦後について大変理解が深まった。日本史を学んでいても昭和時代の美術史に関してはカリキュラム上早足で進めることが多く意外としっかりと学ぶ機会がないためこれを機に学び直そうという意識になった。無料で実施している事も大変すばらしい。入場料を取っても遜色のない内容だと思う。（20代・女性）
- ・戦中と戦後ではポスターのイラストの風味が変わっていて大変興味深かった。貴重な初めて見るポスターもあって見応えがあった。（大学生・男性）
- ・大学で戦前・戦中の広告について研究しているので非常に興味深く参考になった。実物を見る事で理解が深まった。（大学生・男性）
- ・時代によってポスターの作り、メッセージ、意味合い、そしてデザインの違いがこんなにあるんだと感じた。ポスターのメッセージの重要性や受け手への感じさせ方など改めて重要だと感じた。（30代・女性）
- ・戦中、戦後でデザインが一変するが、デザイナーの時代に適合させる変わり身の早さはむしろたくましいと思った。（40代・男性）
- ・雑誌「NIPPON」の復刻版が出ている事を展示を通じて知る事ができた。今度図書室で閲覧しようと思う。（40代・女性）
- ・本や雑誌、他の博物館などで目にした物も一部あったが、大半は初めて見るものばかりで当時は数々のポスターが作られていた事がよくわかった。後期の開催期間に訪れたが、前期ではどんなポスターが展示されていたのか見てみたかった。素晴らしい企画展だった。（50代・男性）
- ・昭和館にあんなにたくさんのポスターが収蔵されていた事を知らなかった。大変貴重な資料なので更に充実して欲しい。（60代・男性）
- ・デザイン、コピーが時代や戦争を反映して興味深かった。1964オリンピックのポスターは今見ても大変すばらしいデザインだと思う。（60代・男性）
- ・明るくて文字も大きくとても見やすかった。同じデザイナーの戦前・戦後の作品を並べて展示しているのも良かった。（60代・男性）
- ・大変保存状態の良いポスターばかりで驚いた。当時の状況がポスターから垣間見れた気がする。（60代・男性）

常設展示室について

○回収枚数 171 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
78.4%	10.5%	4.1%	7.0%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい
86.0%	14.0%	0%

○「戦中・戦後の暮らし」の理解が深まったか

大変深まった	深まった	それほどでも	深まらなかった
52.6%	42.1%	4.7%	0.6%

○展示アプリガイドについて

わかりやすい	普通	わかりにくい	未使用
45.0%	23.4%	2.9%	28.7%

【主な意見】

- ・生々しい写真に少し気分が悪くなった。でも、これが現実なんですね。
- ・戦争を終わらせるラジオはリアリティがあって良かった。
- ・祖母や両親から聞いていた話を思い出しながら展示を見る事ができ貴重な体験ができた。
- ・ニュースシアターはとても勉強になり見ることができて良かった。
- ・展示物やパネルなど様々な工夫がされていて分かりやすかった。
- ・当時の貴重な資料や映像をたくさん見ることができたので良かった。
- ・英語の訳をつけてもよいのでは。
- ・展示アプリガイドは読めない漢字や意味があって小学生には難しい。
- ・無料の展示物についての案内冊子があるとよいのではないかな。
- ・これだけの素晴らしい展示を維持していくのは大変な事だと思う。大変勉強になった。

ニュースシアターについて (複数回答) ○回収枚数 18 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
50.0%	11.1%	0%	38.9%

○上映時間

普通	長い	短い	未記入
89.5%	0%	0%	10.5%

○上映本数

普通	多い	少ない	未記入
77.8%	0%	5.6%	16.6%

○上映希望年代

昭和10年代	昭和20年代	昭和30年代	未記入
30.8%	19.2%	26.9%	23.1%

○上映希望映像

事件	文化	スポーツ	その他	未記入
30.8%	38.5%	7.7%	11.5%	11.5%

図書室について (複数回答) ○回収枚数 6 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
50.0%	0%	16.7%	33.3%

○主な目的

本・雑誌を読む	レポート・論文	出版等の調査	個人の趣味・研究	その他	未記入
33.2%	0%	16.7%	16.7%	16.7%	16.7%

○書籍、雑誌の量

適当	少ない
66.7%	33.3%

音響・映像室について ○回収枚数 7 枚

アンケート概要

○利用回数

1回	2回	3回	4回以上
50.0%	16.7%	0%	33.3%

○利用した資料

写真	映像	レコード	絵画
22.2%	77.8%	0%	0%

○情報検索システム

使いやすい	普通	使いにくい
100%	0%	0%

紙芝居 (全3回)

○回収枚数 60 枚

アンケート概要

○紙芝居をどのようにして知ったのか *抜粋

通りかかって	昭和館 HP	友人・知人	その他
82.3%	9.7%	4.8%	3.2%

○見学回数

初めて	2回目	3回目	4回目	未記入
88.3%	1.7%	3.3%	5.0%	1.7%

○紙芝居の内容

大変良い	良い	普通	つまらない	未記入
51.7%	33.3%	3.2%	0%	11.8%

○性別

男性	女性	未記入
46.7%	50.0%	3.3%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
16.7%	11.7%	10.0%	21.7%	15.0%	13.3%	6.7%	1.6%	3.3%

○住所

東京都	神奈川県	埼玉県	千葉県	その他
78.3%	5.0%	5.0%	5.0%	6.7%

【主な意見】

- ・昔の文化を知る事ができて良かった。パソコン・スマホで動画を見る事が多いが、紙芝居も新鮮で良かった。(小学生・女性)
- ・初めて紙芝居を見た。大変味のあるもので面白い。ぜひこの文化を後世に残してもらいたい。また、You Tube 等で自宅でも見られるようにしても良いと思う。(30代・男性)
- ・当時の子供たちの娯楽を感じる事ができた貴重な時間になった。(30代・女性)
- ・初めて紙芝居を見た。レトロな絵に和み、紙芝居師のアドリブでストーリーが決まると言う話には驚いた。人気の話し手にはたくさんの子供たちが集まっただろうと想像してしまった。(40代・女性)
- ・スカーレットサタン (火焰魔王) ネーミングセンスが面白い。物語の自由さと統一感のなさが語り手を応援したくなる。「黄金バット」「声ひとすじ」全部続きが気になる。昭和なゆる感いっぱいの素敵な紙芝居だった。(40代・女性)
- ・三者三様の紙芝居を楽しませてもらった。クイズで景品までもらえてとても嬉しかった。童心につい帰ってしまった。昭和の温もりがとても嬉しい一日だった。(50代・女性)
- ・日本の昔の風習を子供たちに見せる事ができてありがたいと感じた。(50代・男性)
- ・ヒーロー物だけだと思っていたが、他にもいろいろな話があるのを知り面白かった。いいところで話がブチ切れるのがアイデアですね。(60代・女性)
- ・コロナ禍での上演会はいろいろ大変だったと思うが、ぜひ定期公演を続けて欲しい。(60代・男性)

巡回特別企画展について

◎島根展 令和3年10月29日(金)～11月7日(日)

○回収枚数 306枚 ※アンケートはしょうけい館、平和祈念展示資料館と合同

アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

新聞記事	テレビ・ラジオ	遺族会	ポスター・チラシ	学校からの案内	その他
15.5%	17.2%	5.9%	16.1%	6.2%	39.1%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未記入
73.2%	24.8%	1.6%	0.4%

○性別

男性	女性	未記入
52.6%	46.1%	1.3%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
4.2%	2.6%	5.2%	10.1%	19.0%	26.5%	22.2%	8.5%	1.7%

○住所

松江市内	島根県内	島根県外	未記入
62.7%	24.2%	10.8%	2.3%

【主な意見】

- ・戦中・戦後はこうだったのだと少ない展示ながらもわかりやすかった。(中学生・男性)
- ・絵や図、映像・文章などで日本国内での戦争や国外での戦争の様子、そして残された家族の様子などがよくわかった。(小学生・女性)
- ・すごくわかりやすかった。初めて知る事ばかりでとても勉強になった。(小学生・女性)
- ・たまたま来場したが、写真などもあり当時の時代がわかりやすくまとめられていてとても勉強になった。(大学生・男性)
- ・説明がわかりやすく、かつ鮮明に記載されていて良かった。(30代・男性)
- ・陶器のアイロンの保存状態が良かった事に驚いた。島根にも戦争の影響があったのだと実感した。(40代・女性)
- ・新聞記事を見て来場した。子供たちに見せたいと思い子供を2人連れてきた。最近の子供たちは戦中の事をよく知らないので勉強になり良かった。(40代・男性)
- ・今、普通に過ごせて物がありふれている事が当たり前になりすぎて、自分たちの暮らしに不満や文句を言うことも多くなっている。戦争や昭和の時代を知る事でもう一度平和の尊さ有難さ、普通に暮らせる事を感謝して、そして二度と過ちを繰り返さないようにする事が大切だと感じた。(40代・女性)
- ・今の平和も未来の平和も先人と現代の人々の努力と様々な運動や活動によって築かれ続けていくのだなと思った。(50代・男性)
- ・初めて知る事が多くあった。多くの方にも知ってもらいたい内容ばかりだった。平和について改めて考えるよい機会となった。(50代・女性)
- ・先人の苦労がわかる。これをどうやって引き継いでいくのかが課題。(50代・男性)
- ・平和を考え戦争が何をもたらしたのかを考える上で貴重な体験だった。島根の戦争の記録はこれからも整理保存が大切だと思った。(50代・女性)

- ・実際に使われていたものが目の前にあり、現実にあった事なんだと改めて感じた。(50代・女性)
- ・中立的に事実だけに絞って(戦争に賛成・反対というプロパガンダ的な事が扱われていない)展示されている事を評価したい。(60代・男性)
- ・まさに「戦争と平和」という私たちが心に刻むべき忘れてはならない語り継ぐべき出来事だと思う。体験者の高齢化や物故者の中でどのように継承すべきか考えたい。(60代・男性)
- ・語り部がだんだんと少なくなっていく中、いかに次世代へ戦争という実態を伝えるのか。これを無くしては平和へは繋がらないと思う。何かできないかと切に願う。(60代・女性)
- ・戦争の遺品が次々と処分されていくのを感じる。戦争経験者がいなくなっている中、遺品などを残して欲しいと思う。(70代・女性)
- ・当時の新事実を知る事ができる貴重な資料がたくさんあった。(70代・男性)
- ・戦争体験を話せる人が少なくなった。今後も各地で積極的な開催をお願いしたい。(70代・女性)
- ・国民学校生の時に使った国語の教科書が見られて良かった。懐かしい思い出。(80代・男性)

◎兵庫展 令和3年10月7日(木)～10月17日(日)

◎回収枚数 133枚 アンケート概要

○展示会をどのようにして知ったか

遺族会	新聞	他の博物館等	通りかかって	友人・知人	その他
4.2%	4.2%	16.8%	14.0%	18.2%	42.6%

○展示内容について

良い	普通	わかりにくい	未記入
82.0%	17.3%	0%	0.7%

○昭和のくらしや文化について理解が深まったか

よくわかった	まあまあわかった	わかりにくい	未記入
65.5%	33.1%	0%	1.4%

○特設コーナー「昭和館ポスターコレクション」について

良い	普通	わかりにくい	未記入
75.2%	21.8%	0%	3.0%

○特設コーナー「戦争に行った神戸大学の学生たち」について

良い	普通	わかりにくい	未記入
83.5%	12.8%	1.5%	2.2%

○特設コーナー「大村崑オーラルヒストリー」について

良い	普通	わかりにくい	未記入
53.4%	32.3%	5.3%	9.0%

○性別

男性	女性	未記入
54.1%	45.1%	0.8%

○年齢別

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未記入
8.3%	3.0%	2.3%	15.8%	15.8%	27.1%	20.3%	6.0%	1.4%

○住所

神戸市	明石市	芦屋市	尼崎市	西宮市	その他
54.1%	2.3%	3.8%	4.5%	8.3%	27.0%

【主な意見】

- ・学校で戦争を知りたいと言うとバカにされ「俺らには関係ない」と言われたが、ひいおじいさん達が死んでいたら私達は生まれていない。展示を見ればそれがわかると思う。(小学生・女性)
- ・昔はこんなにも大変だったという事が改めてわかった。この事を心に刻んで今の幸せな生活を感謝していきたいと思う。(中学生・女性)
- ・別の展示会目的で来場したが、戦時中の暮らしや学徒出陣などの状況がわかりとてもためになった。(40代・男性)
- ・平和である事は決して当たり前の事ではなく、自分たちでいかに平和を維持していく必要があると感じた。(40代・男性)
- ・期間限定と聞き、1回目は駆け足で、2回目はゆっくりと見た。焼夷弾やDDP噴霧器など展示物の保存状態が良好なのに驚いた。照明や展示物の配置なども申し分なく「昭和館」の趣旨がよく頭に入ってきた。神戸出身の大村崑さんのオーラルも大変良かった。(40代・男性)
- ・息子が神戸大学を卒業しているので、学徒出陣で、もし召集されていたらと自分と重ね合わせて見た。今何不自由なく生活できるのは、すべて戦前・戦中・戦後とたくましく前向きに生きてこられた先人のおかげだと思う。若い人たちにはこのような展示を見るきっかけが無いのかもしれないが、ずっと語り継いで行くべきだと思った。(50代・女性)
- ・戦争中の神戸の様子の写真を見て、平和のありがたみをつくづく感じた。(50代・女性)
- ・知らなかった事(鳴尾・尼崎の歴史)、給食の風景、死亡通知など、目にするのが初めてだった事が多く興味深かった。小さな子供たちにも見て欲しいと思った。写真や映像は記憶に残る。(50代・女性)
- ・小3の娘が戦争に興味を持ち、チラシを学校から持ち帰り見に行きたいと言われたのがきっかけで来場した。中3の娘も中学校で戦争について学習しているところだったので、とても良い機会となった。今の生活がいかに幸せなのか改めて感じた。(50代・女性)
- ・地域性のある資料で身近に感じられてわかりやすかった。開催期間がもっと長ければ学校団体などでも利用できて、いいのになと思った。(60代・男性)
- ・遺児です。戦中・戦後の事は人から聞き、なんとなくわかっていたが、兵庫展を見て改めて大変だった事がわかった。今の若い人たちに見て欲しいと思った。(70代・女性)